




平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
 II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
 III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
 IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
 V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 京都市 】

1 実践テーマ	【 I・III・IV・V 】
2 実施対象者	京都市立東山泉小中学校 第6学年（74名）、第7学年（67名）、 第8学年（67名）、第9学年（89名）
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ 音楽科・保健体育科・家庭科 ） ② 行事名（ ） ③ その他（ 特別活動・道徳 ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	・児童生徒が多様な違いを理解しながら、主体的に社会参画をしていこうとする態度を育てる。 ・児童生徒がオリパラ教育を通じて、スポーツの価値に気づくことができる。
5 取組内容	<p>○<u>オリンピック・パラリンピックムーブメントについての学習</u> 6月 保健体育科：体育理論<7年生></p> <p>○<u>オリンピックによる実技指導・夢に関する講演</u> 7月12日（木） <6～9年生> 講師：アテネオリンピック水泳日本代表 森 隆弘様 ・水泳 [クロール(7年生)・平泳ぎ(6年生)] の実技指導 ・6～9年生を対象に、夢をテーマに講演会</p>  <p>○<u>伝統文化の体験を通して、世界の人をお迎えする態度を育てる。</u> 7月 家庭科：和装着付け体験<7年生> / 音楽科：箏<7年生> 1月 特別活動：いけばな体験<7年生> / 音楽科：和太鼓<8年生></p>   <p>○<u>7年生人権学習…ユニバーサルな社会を築いていくための知識を身に付け、 車いすの実体験を行う。</u> 1月25日（金） 講師：京都 UPS 山本英嗣様、東武士様 元パラリンピック車いすバスケットボール日本代表コーチ 坂野晴男様(現ふれあいの杜館長)</p>

- ①選手紹介，デモンストレーション…車いすバスケットボールの特性等
- ②車いす体験…前進後進リレー，5vs5 クラス対抗試合
- ③選手体験談，質疑応答…病気やけがの経緯。車いすバスケットとの出会い
- ④事例を基に，あらゆる人が気持ちよく過ごせるためにどうすればよいのかを生徒と選手で共に考える



○道徳：フェアプレイとは。1月 7・8年の各学級で実施。

- ①フェアプレイにおいて大切なことは？
- ②動画Ⅰ「ロンドン五輪バドミントン女子予選」⇨両ペアわざと負けたい
- ③動画Ⅱ「サッカーロシアW杯 日本対ポーランド」⇨負けの中ボール回し
- ④動画Ⅲ「U-18 野球W杯 日本対カナダ」⇨大量リードで盗塁
- ⑤フェアプレイはスポーツだけでなく，日常生活にも欠かせないもの

6 主な成果

それぞれが多様な違いを持って生活していることに児童生徒が気づき，それを踏まえて行動していくことの大切さ，自分自身が社会を構成する一人であるということを理解することができた。また，オリパラ教育に関わる各教科の授業や学活等で，東京 2020 の話題に触れることで，児童生徒の中で身近な存在として捉えることができるようになってきた。

以下は，児童生徒の感想。

「行動に表れなくても心がその人に向いていれば，人を助けることになるということが分かりました。私も知らない人に積極的に話す人ではないので，困りがあるかと思って話しかけるのに苦労します。でも，そこで止めるのではなく一歩踏み出して行動できるようになりたいです」

「誰にでも人より優れていること，劣っていることもあるんだと感じた。自分たちはその程度が低いだけで，それらを助け合っているだけで，違いに対してどのように思いに寄り添って接していくかが大切だと思った。」

「障害のあるないに関わらず，自分の友達とかが悩んでいるとき，得意げになって聴くのではなく，相手の人の気持ちになって聴いてあげることが大切だと思う。誰にでも苦手なことはあると考えるから。」

「私自身もケガで良くないところがあって，全力でプレーすることが出来なかったり，人よりできないことがあるけど，そういったというにいつも自分は下を向いてばかりだったなと気づきました。何かがあるから助ける，助けないじゃなくて，困っている人がいたら助ける，その方の気持ちを考える，みたいな感覚を誰もが持ってほしい。もちろん自分も。世界中の全員が違って，でも全員が幸せに生きることのできる温かい世の中を創っていきたいです。」

7実践において工夫した点（事業の特色）

昨年度から教職員会議にて，オリパラ教育を進めていくことを共通理解した。今年度も引き続き取り組んでいくことで，教育活動の中でなにができるのかを教職員が考えた。その際，すべてのものを新たに組み直すものではなく，既存のものをどのようにつなげていくかを大切にして，一年間を計画した。

8主な課題等

車いすバスケットボールの実施には，運搬費も含めて予算面の工夫，日程の調整が必要。

9来年度以降の実施予定

各教科の授業や特別活動において実施したものは，来年度も実施していく予定である。